

夏の真ん中・針ノ木岳

山行日：2019年8月10日～8月11日

行程：8/10 松戸5:30＝扇沢バスターミナル11:00/11:10－
大沢小屋12:45/12:55－針ノ木小屋16:40

8/11 針ノ木小屋6:20－針ノ木岳7:25/7:45－針ノ木小屋8:35/9:05－
大沢小屋12:25/12:45－扇沢バスターミナル14:10＝
薬師の湯14:30/15:50＝松戸21:10

どこからこんな山奥まで人が集まってきたのだろうか？ここはお盆休みの扇沢。駐車場に入るのも難しい程の激混み具合。ラッキーなことに空きが出た臨時無料駐車場に案内された。殆どの人は続く猛暑のためか涼を求めて黒部ダム方面へ。私たちは極少数派。各々支度を整え、ザックを背負い、、Yさん!! 荷物が少ないですね!!と、山歴うん十年のベテラン山男と、素人のなんちゃって山女（ガールと書きたい気持ちは山々ですが、おそらく年齢制限に引っかかってしまい使用できず）の荷物の量の違いに驚きつつ、いざ出発。暑い暑い。樹林帯は日陰でまだしも、日向はもうじりじりと真夏の太陽が全てを焦がしています。

さて今回の目玉、日本三大雪渓の一つ、針ノ木大雪渓を下から見上げると、まるでそびえ立つ壁、急斜面で長い！人が蟻のように小さく歩いているのが見え。アイゼンをつけ、その蟻の一匹になりました。滑らない様、一步一步集中して歩を進めます。雪渓の上は時折涼やかな風が吹いてきて、冷蔵庫の中にいるみたい。なんて贅沢な体験でしょう。所々にクレバスが大きな口を開けていたのも冷感アップのポイントでした。雪渓が終わってから針ノ木小屋までの岩々の急登も、暑い、辛い、キツイオススメの一つです。

登り切った針ノ木小屋周辺の景色と言ったら、さながら天国でしょうか。冷たくて美味しい1100円の生ビールを堪能しつつ、北アルプスの山並みを飽きることなく眺めました。

翌朝、針ノ木岳山頂アタックです。初ライチョウに感激！360度、どこまでも青く澄み晴れ渡る山頂からの眺めの素晴らしいこと。夏山の緑の濃さ、立ち昇る大地の息吹、生命力、躍動感に圧倒されました。黒部ダムを挟んでの立山、劔岳、憧れが一層募るばかりです。

最後に、Nリーダー、長時間の運転お疲れ様でした。Yさん、Kさん、すごく楽しい山行になりました。またご一緒させて下さいね、ありがとうございました。

